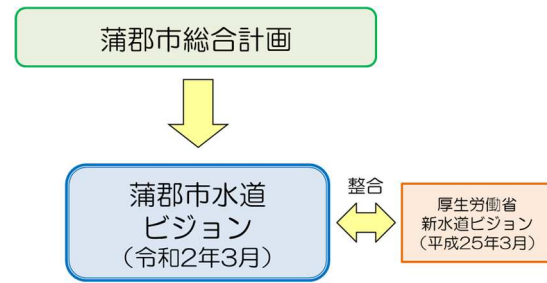


## 1 水道ビジョンの目的

「蒲郡市水道ビジョン」は、本市水道事業におけるマスタープランに位置づけるものであり、本ビジョンで示す将来目標の実現に向けて各種取組を進めます。

本ビジョンの目標年度は令和 11 年度とし、計画期間は 10 年間（令和 2 年度～令和 11 年度）とします。



## 2 水道事業の現状評価・課題

### ● 安全な水道

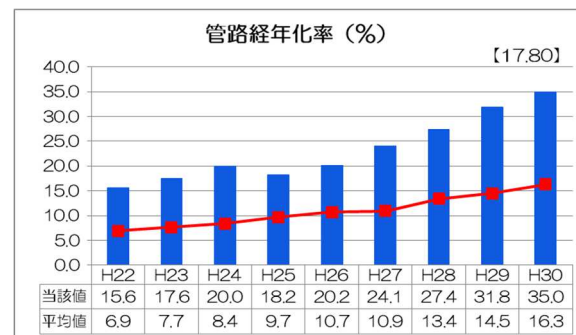
水道の安全面に関しては特に問題ありませんが、課題として、赤水・濁水等の対策としての経年管の更新や、残留塩素濃度の管理の必要性が挙げられます。

### ● 強靱な水道

配水池の耐震化率は 99.2% であり良好です。一方、基幹管路の耐震化については 37.8% であり、平成 30 年度現在、愛知県平均を下回っています。これまで同様、計画的に耐震化を進めていく必要があります。また、濁水対策やリスク対策についても、継続的な取組が必要となっています。

### ● 水道サービスの持続

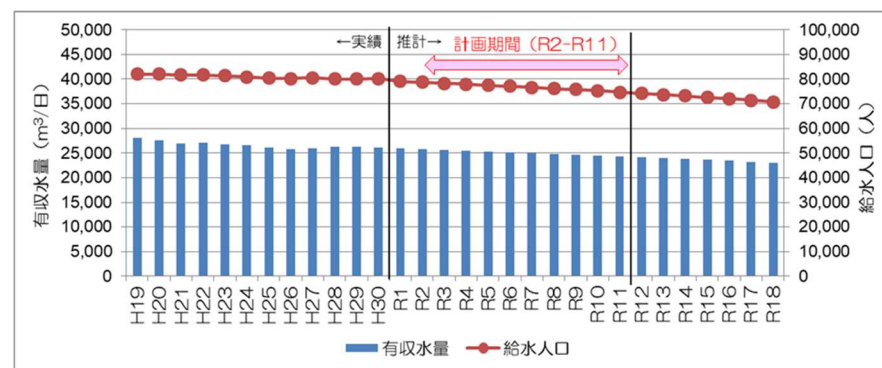
機械設備や電気設備は現状、長寿命化を図り、更新費用を抑制しています。しかしながら、法定耐用年数を大幅に超過している設備は、事故・故障等を未然に防止する観点から計画的な更新が必要です。



## 3 将来の事業環境

### ● 水需要の見通し

過去 10 年間の給水人口の実績は減少傾向を示しており、将来的には給水人口の減少等による水需要の減少が予想されます。そして料金値上げを実施しない場合には、給水収益の減少に繋がります。



### ● 将来の投資額

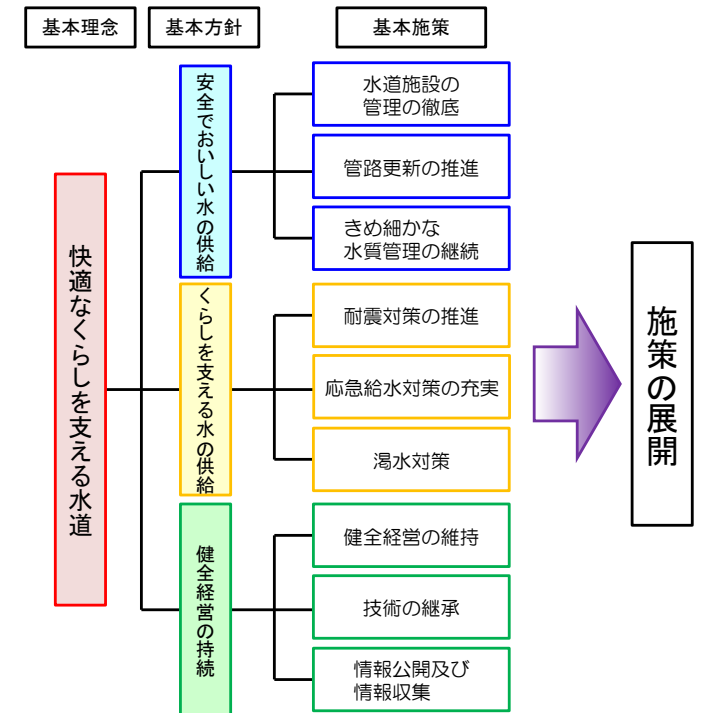
今後 10 年間の投資額については、各施設及び設備ごとに更新基準の設定や投資の平準化を図ることとで約 9.8 億円/年となります。水道事業経営の収支均衡を維持し、更新需要及び耐震対策に対する財源を確保するため、収入と支出の両面から取組を進める必要があります。

### ● 水道事業の基盤強化

令和元年 10 月に施行された改正水道法を踏まえ、健全経営の維持に加えて、適切な資産管理の推進や人材育成等、水道事業の基盤強化の取組が重要です。

## 4 将来目標と施策

現状及び将来の事業環境の課題に対して、本ビジョンの基本理念「快適な暮らしを支える水道」、そして「安全」「強靱」「持続」の観点からの 3 つの基本方針を掲げ、基本施策を展開していきます。



### ● 安全でおいしい水の供給

- 水道施設の管理の徹底
  - 機械設備や電気設備について、維持・修繕の充実や計画的な更新により適切な管理を行います。
  - ⇒ 【目標】機械設備及び電気設備の老朽化資産の割合 10%
- 管路更新の推進
  - 送配水管路における水質管理の観点から計画的に経年管を更新します。
  - ⇒ 【目標】管路経年化率 45%、管路更新率 1.0%
- きめ細かな水質管理の継続
  - 水道水質検査計画を活用し、水質管理を継続することで現在の水質を維持します。

### ● 暮らしを支える水の供給

- 耐震対策の推進
  - 耐震化していない配水池や基幹管路について、計画的に更新を進めます。
  - ⇒ 【目標】配水池の耐震化率 100%、基幹管路の耐震管率 60%
- 応急給水対策の充実
  - 「蒲郡市地域防災計画・水防計画」に基づく資機材確保、応急給水訓練の充実に取組みます。
- 濁水対策
  - 濁水時において市民に節水協力を求めることを継続します。

### ● 健全経営の持続

- 健全経営の維持
  - 今後も水道事業経営の収支均衡を維持すべく、収入と支出の両面から取組を進めます。
  - ⇒ 【目標】経常収支比率 100%以上、企業債償還元金対減価償却費比率 30%、有収率 95%
- 技術の継承
  - 適正な人員配置に努めるとともに、内部研修や外部研修を通じて人材の育成を図ります。
- 情報公開及び情報収集
  - 多様化する水道利用者のニーズに応えるべく情報公開・情報収集に努めます。